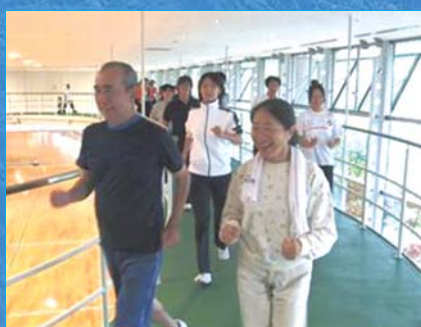


# 健康ビジネス連峰

～健康ビジネスのトップランナーを目指して～



# 健康ビジネスとは？

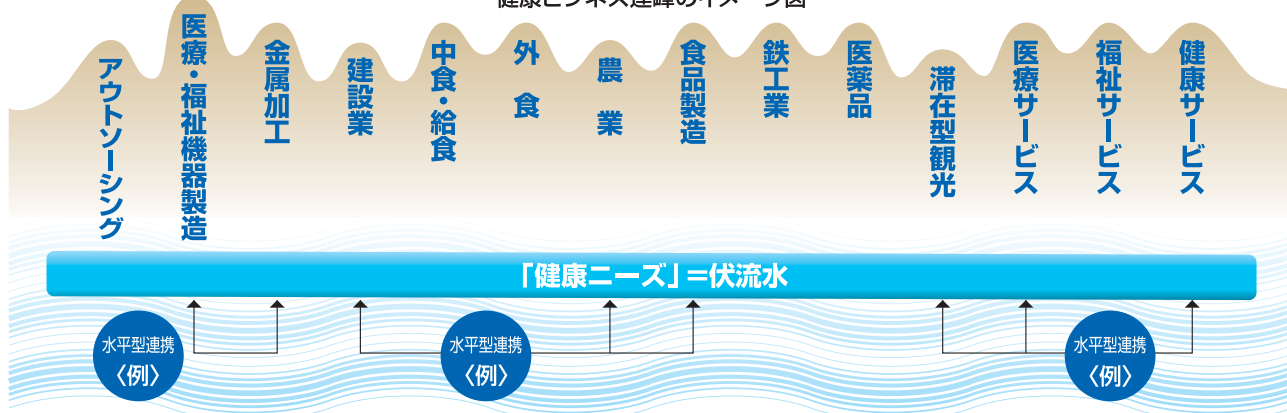
◇健康ビジネスは、健康・福祉・医療という個人・社会ニーズに対応するビジネスであり、人口減少時代にあっても、今後、市場規模が拡大していくものと見られます。

- H20 ～特定健診・保健指導スタート  
→個人の健康ニーズの増大
- 健康増進＝病気予防  
→社会の医療費削減ニーズの増大



**市場規模拡大**

健康ビジネス連峰のイメージ図



健康関連産業の裾野を“伏流水”のように流れる消費者の「健康ニーズ」

◇健康ニーズは裾野が広く、幅広い業態から参入が可能であり、農林水産業、観光産業、食品産業、機械工業や自然資源など、新潟県の豊富な資源を活用できます。

## ■新潟県の地域資源の数

H20.7.2 変更認定（経済産業省ほか）

総数	農林水産物	鉱工業品	観光資源
263	57	52	154

【法律による「地域資源」の定義（要約）】

- ①地域の特産物として相当程度認識されている農林水産物または鉱工業品
- ②特産物となる鉱工業品の生産にかかわる技術
- ③地域の観光資源として相当程度認識されているもの



# 健康ビジネス連峰「第一ステージ」の成果

- 新潟県では、平成18年2月より「健康・福祉・医療新産業ビジョン～健康ビジネス連峰～」を推進。
- 18年度からの2年間、健康ビジネス推奨事例を20件以上輩出することを目標に、先導的プロジェクトへの支援を全庁的に展開。

## 【数的成果】

### 推奨事例「健康ビジネス連峰 三つ星ビジネスモデル」

⇒ **27件** 輩出！

ものづくり型	8件	健康ツアー型	6件
食品型	6件	複合型	1件
サービス型	6件	合計	27件

## ☆☆☆ 主な三つ星ビジネスモデル ☆☆☆

### －ものづくり型－

#### 連携 金属洋食器製造＋大学＋医療機関 など



＜テーマ＞  
歯や歯茎を傷つけないソフトスプーンの開発

＜実施団体・企業＞  
株コラボ、日本歯科大学附属病院、口腔介護リハビリセンター、新潟大学福祉人間工学科、コトイダストリアルデザイン事務所 ほか

#### 連携 歯科保健団体＋機器製造＋大学



＜テーマ＞  
高齢者向け口腔機能測定器の開発

＜実施団体・企業＞  
財新潟県歯科保健協会、竹井機器工業(株)、新潟大学大学院医学総合研究科 ほか

### －食品型－

#### 連携 製粉＋農協＋県試験研究機関 など



＜テーマ＞  
微細製粉技術によるミックス米粉の開発

＜実施団体・企業＞  
新潟製粉(株)、全国農業協同組合連合会 新潟県本部、新潟県農業総合研究所食品研究センター

#### 連携 食料品卸＋食品製造＋大学 など



＜テーマ＞  
地域の大学、医療機関と連携した機能性食品の開発

＜実施団体・企業＞  
有ライフプロモート、一正蒲鉾(株)、ユニテックフーズ(株)、新潟医療福祉大 ほか

「3つの原則」と「1つの方針」

〈3つの原則〉

- ① 資源を生かす
- ② 医学的・科学的根拠
- ③ 楽・美・簡  
(楽に、楽しい、美しい、美味しい、簡単)

〈1つの方針〉

+

一人でやらない、連携する

—サービス型—

連携 プロスポーツチーム+大学+IT など



〈テーマ〉  
プロスポーツチームの会員組織を活用した「アル美健康倶楽部」の運営

〈実施団体・企業〉  
(株)アルビレックス新潟、事業創造大学院大学、(株)新潟アルビレックスランニングクラブ ほか

連携 飲食店+医療機関



〈テーマ〉  
健康づくり支援店の展開 「新潟労災病院内 外来食堂エデン」

〈実施団体・企業〉  
新潟労災病院内 外来食堂 エデン、県上越地域振興局

—健康ツアー型—

連携 測量設計+旅館+農家団体 など



〈テーマ〉  
薬草に着目した健康ツアー・薬膳料理・商品開発の総合的展開

〈実施団体・企業〉  
新潟巧測(株)、地元農家団体、(株)大観荘、(株)菓子竹 ほか

連携 施設管理+フィットネス+医療機関 など



〈テーマ〉  
森林セラピー基地を活用した大手フィットネスとの連携による健康ツアーの開発

〈実施団体・企業〉  
(有)スマイルパートナーズ、セントラルスポーツ(株)、(株)日本水泳振興会、町立津南病院 ほか

【質的成果】

全国でも例のない新ビジネスモデル誕生！

例 《食の支援ステーション》

- 新潟大学医歯学総合病院内に摂食・嚥下機能障害者向けの介護食・介護用品を展示・試用するスペースを設置。
- 歯科医師の指導に基づく商品の試用と評価・研究を実施。
- 患者・大学・メーカーの3者 WIN-WIN-WIN 関係構築。

〈実施団体・企業〉

ホリカフーズ(株)、(株)コラボ、(株)クレスク、新潟大学歯学部ほか



〈三つ星ビジネスモデル(複合型)〉

これらのビジネスモデルを参考に、多くの事業者が健康ビジネスに参入することを期待します

# 健康ビジネス連峰「第二ステージ」の戦略

- 健康ビジネス連峰は、“種まき・育成”の段階である「第一ステージ」を終了し、「第二ステージ」へ移行。
- 「第二ステージ」は、今までの支援を継続しながら、新たな戦略のもとに健康関連ビジネスの市場化・拡大を促進。



## ◇ 売れる仕掛けづくり支援

既に市場化された健康関連商品（機器・食・サービス等）の一層の販売拡大を目指すプロジェクトを支援します！

### 例) 健康関連ビジネスモデル推進事業補助金（売れる仕掛けづくり枠）

売れる仕掛けづくりに向けたプロジェクトにかかる経費の一部を補助します。

### 〈売れる仕掛けイメージ〉



## ◇ 健康ビジネスのブランド化推進

「健康ビジネスといえば新潟県」というイメージを確立し、健康ビジネスのブランド化を図ります！

### 例) 全国初！健康ビジネスサミット「うおぬま会議」の開催

健康ビジネス業界のトップリーダーや行政関係者などが一堂に集い、業界の現状や課題について議論します。

# 県による全庁的なバックアップ体制

## ≫ 県予算による支援（主な事業）

- いきいき健康ビジネス創出事業 **産業労働観光部**  
健康関連ビジネスに関し、先導的な地域の取組や企業同士の連携による製品やサービスの開発に対して助成
- 農と観光の連携による魅力づくり事業 **産業労働観光部** **農林水産部**  
本県が全国に誇る「自然」と「食」を組み合わせ、本県特有の魅力として発信し、誘客を促進
- めざせ!!「健康にいがた21」作戦 **福祉保健部**  
生活習慣病予防のため、食育、運動習慣の定着、たばこ対策を推進
- 建設業活性化支援事業 **土木部**  
新分野・新市場進出や企業連携など、建設業の活性化に資する事業に対して助成
- 総合型地域スポーツクラブ育成事業 **総務管理部**  
地域住民のスポーツ活動を支援するため、総合型地域スポーツクラブの設立・運営に関する講習会等を開催

## ≫ 県公設試験研究機関※における研究及び開発支援

※「工業技術総合研究所」「醸造試験場」「食品研究センター」「水産海洋研究所」など

## ≫ 公的支援制度等の活用支援

- 国の競争的資金  
→ 「地域資源活用プログラム」「新連携」「農商工連携」など
- (財)にいがた産業創造機構の各種支援制度  
→ 「ゆめ・わざ・ものづくり支援事業」「建設企業新分野進出等支援事業」など

## 各種お問い合わせ先

### 【各種研究及び開発について】

- 製造業** 新潟県工業技術総合研究所 (TEL: 025-247-1301(代))
- 醸造業** 新潟県醸造試験場 (TEL: 025-222-4568)
- 食品産業** 新潟県農業総合研究所食品研究センター (TEL: 0256-52-3267)
- 水産業** 新潟県水産海洋研究所 (TEL: 025-261-2041)

### 【個別企業への各種支援について】

(財)にいがた産業創造機構 (TEL: 025-246-0025(代))

【その他、健康ビジネス全般については下記まで】

## 健康ビジネス連峰

新潟県産業労働観光部産業振興課新分野育成係  
TEL 025-280-5718 FAX 025-280-5508  
HP <http://www.kenko-biz.jp/>